

平成20年5月23日
佐賀県教育センター 研究課
研究調査担当 林 正昭
電話:0952-62-5211 (内線 395)
E-mail:hayashi-masaaki@pref.saga.lg.jp

これからの新しい学校教育をリードする教材等を作成しました

佐賀県教育センターでは、教育関係職員の研修の他、教育に関する専門的、技術的事項の研究調査事業の一つとして「プロジェクト研究」に取り組んでいます。

平成19年度は、小学校高学年の英語活動のための手引書となる調査研究や、算数・数学を「活用する力」を育む教育内容を授業実践レベルでまとめた調査研究の成果として、教材等を作成しました。

これは、3月28日に公示された新学習指導要領で改訂された内容をいち早くカバーする内容となっています。

これらの教材等については、教育センターのホームページで全国に向けて情報発信すると共に、6月から県内3会場（佐賀市、唐津市、武雄市）で、小中学校教諭を対象に実施する出前講座において活用する予定です。

1 プロジェクト研究の目的

本県の教育課題や学校現場からの要請を踏まえ、センター所員と学校現場の教師がプロジェクトチームを組み、課題に関する調査・分析を通して、指導の具体的な方策や教育実践に役立つ教材などを提案するものです。

2 平成19年度に作成した教材等

(1)「国際コミュニケーションの素地をつくる英語活動」

新しい小学校学習指導要領において、小学校高学年で必修科された外国語活動のための手引書として、Q&Aと具体的なトピックを紹介しています。

(2)「算数・数学を活用する力をはぐくむ授業の工夫」

これからの理数科教育の中で求められている数学的リテラシーに着目し、新しい学習指導要領で求められている「活用する力」を育むための算数・数学科教育の内容を授業実践レベルでまとめています。

(3)「安全な理科実験・観察ハンドブック(中学校編)」

新学習指導要領で授業時数も増加し、より充実した指導を求められる理科教育の手引書として、授業場面における安全指導や観察・実験のコツを分かりやすくまとめています。

(4)「学校で子どもたちが安心して過ごせる人間関係づくり」

(5)「自己の将来の生き方を前向きに設計するキャリア教育」

(1)～(3)の研究については、冊子として、県内の全ての小中学校や県内教育関係機関に配布し、活用を図っています。

3 佐賀県教育センターのHP <http://www.saga-ed.jp/>